

母親NTR
フルカラー



僕の

大好きな

母さん

前編

親友だった先輩に
寝取られた

ちよつと！
陸人……

本当に……
やめなさい

やめて……

やめて……

学校なら
大丈夫だよ……

すぐ終わるから
一回だけ
出させて……

一回だけ
……

この前も
結構気持ちよさそうに
してたじゃん……

でも母さんだつて
そんなにイヤじゃ
ないんでしょ？

夫が単身赴任で
家を出たのを
いいことに……

ああ、
母さんの
オッパイ……

息子の陸人は
私のカラダを
求めてくるように
なりました……

ねえ
いいでしょ？
母さん……

私たちが
親子なのよ！
こんなことして
いいわけ……

そういう
問題じゃない！

やめ……

最初のうちは
軽いスキンシップだと
思っていました…

ああ…
…やわらけえ
…

気づくのが
遅すぎたんだと思います…

息子が私を性的対象として
見ていることに…

陸人が私の胸に顔を
埋めながら…

局部を
しごいているのを
見た時…

え？

ウソ？

母さんの
マンコ…

しかしその行為は
次第にエスカレート
していき…

ついに最後の一線まで
越えようとして
きました…

え？

ちょっと！

え？

ちょ…
何してるの陸人？

その疑念は
確信に変わりました

「その日」は
突然やってきました

はぁ…

ある日の
お風呂上がりの
時のことです

脱衣所で
心身ともに
無防備な状態だった
私に…

な…

何してるの
陸人？

ちょっと！

陸人！

ごめん母さん！

オレもう
ガマンできない！

陸人は
迫ってきたのです

母さん…

!?



私も陸人の性的な視線を感じてはいたのである程度警戒していたものの…

ちよつと
陸人！

この時ばかりは不意を突かれた形で抵抗することができなかつたのです

母さんのこと
好きなんだ…

ふわ～
いいニオイ

たまんねえ
…

ヤバい…

いいよね…

母さん…

オレ…

出ちゃうよ
お尻に
こすりつけてる
だけなのに…

「好き」って…

な…
何言ってるのよ
陸人…

30!!

3/3

もう我慢の
限界なんだ……

いいよね？

入れちゃうよ
母さん……

息子からの
突然の告白と

カラダを
求められたことで
パニックになって
しまった私は……

そのまま
なし崩し的に……

挿入を許して
しまったのです……

その以来陸人は
タガが外れたように

毎日毎日
私のカラダを
求めて来るように
なりました

母さん！

イクよ！

母さんの
中に……

出しちゃうよ！

このまま……

えっ？

気持ちいい...

私も息子の気持ちに
どう対処してよいか
わからず...

気持ち
いいよ...

母さんの
マンコ...

求められれば
断ることもできず
...

今も関係が続いて
いるというわけです

お願い...
中は...

中は
ダメえ...

イク...

イク...

いつちゃうよ

アッ!

アッ...

アア...

はぁ

はぁ

ビュッ



最近では毎日のように
カラダを求めてくるのに…

すぐに一人で
イッてしまう息子に

はあ、
気持ちよかったよ
母さん

これで一日
スッキリ
過ごせる

少し物足りなさを
感じるようにさえ
なっていました…

あつ！
ヤベ…

今日先輩が迎えに
来るんだった！

ええ？

気を付けてね
陸人！

もう
下で待ってるって…

ざーす
先輩…

「ざーす」
じゃねえよ…

お前
何やってんだよ？

一緒に朝練行きましょうって
誘ってきたのお前だろ？

お前朝から
何やってんの？

なんだよ
立て込むって

す…
すんません…

ちよつといろいろ
立て込んで…

オバさん
どもです

初めまして…

えっ…
あ…
はい…

やだなあ…

瑠偉ですよ

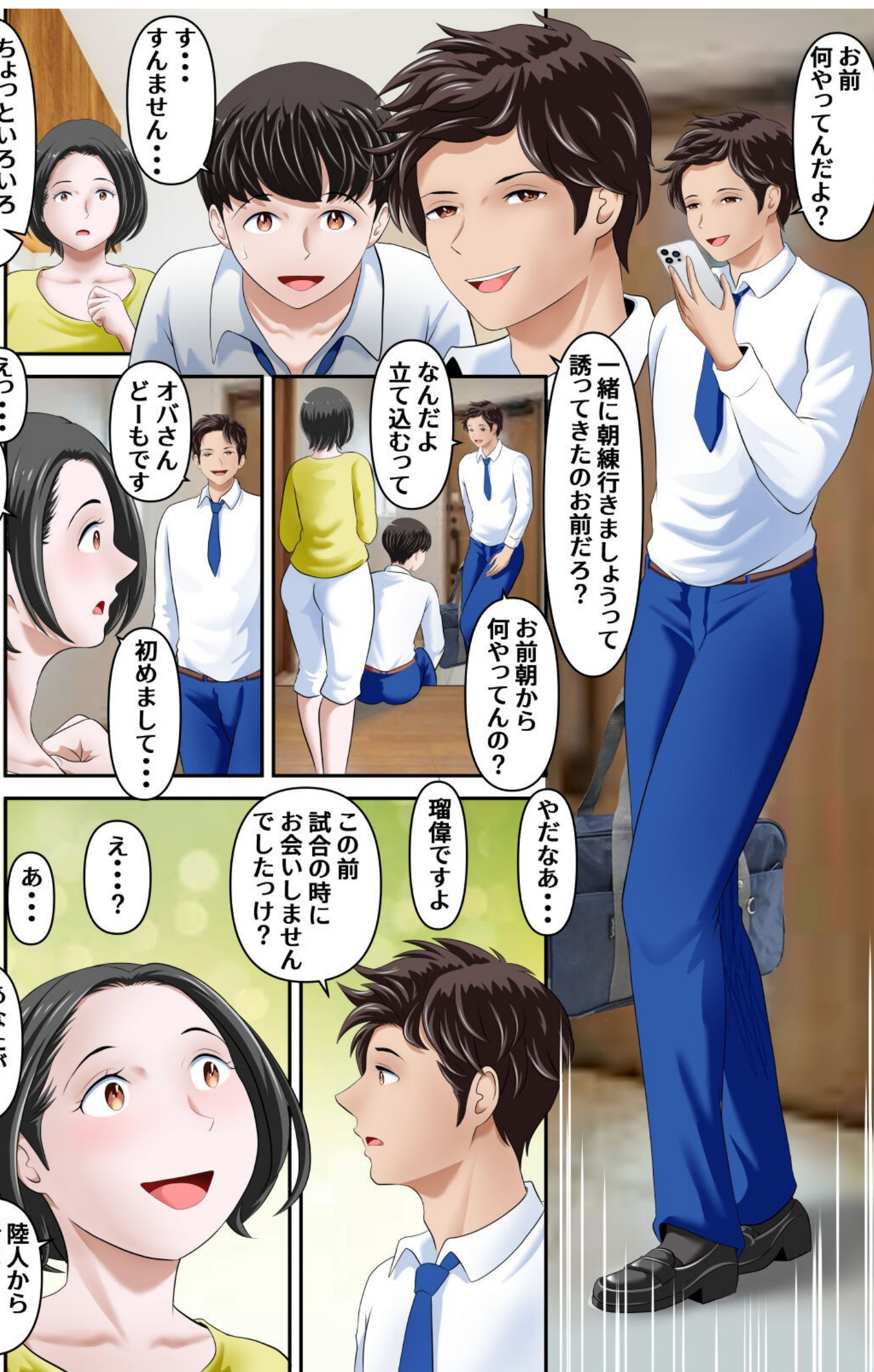
この前
試合の時に
お会いしませ
でしたっけ？

え…？

あ…

あなたが
ルイくん？

陸人から
話はよく
聞いてるわ



もう…
最悪…

さつき陸人が
中に出した
モノが…

垂れて
きちやつて…

いっ

どうかしました？

もう…

いいから早く
行つてよ！

なんか
モジモジ
してるような…

モジモジ

オバさん

マジで
大丈夫ですか？

そんなこと
ないわ…

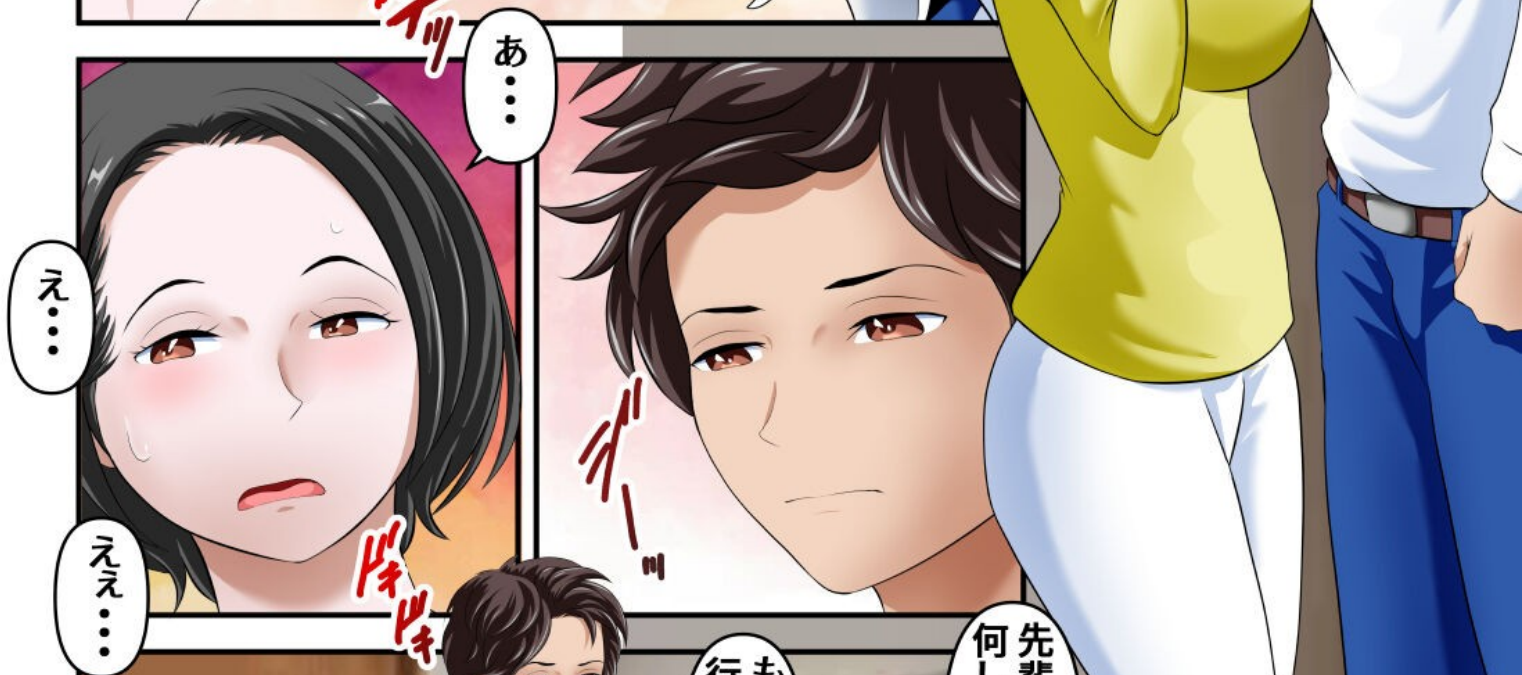
そんなに
印象薄いのかなあ
オレ…

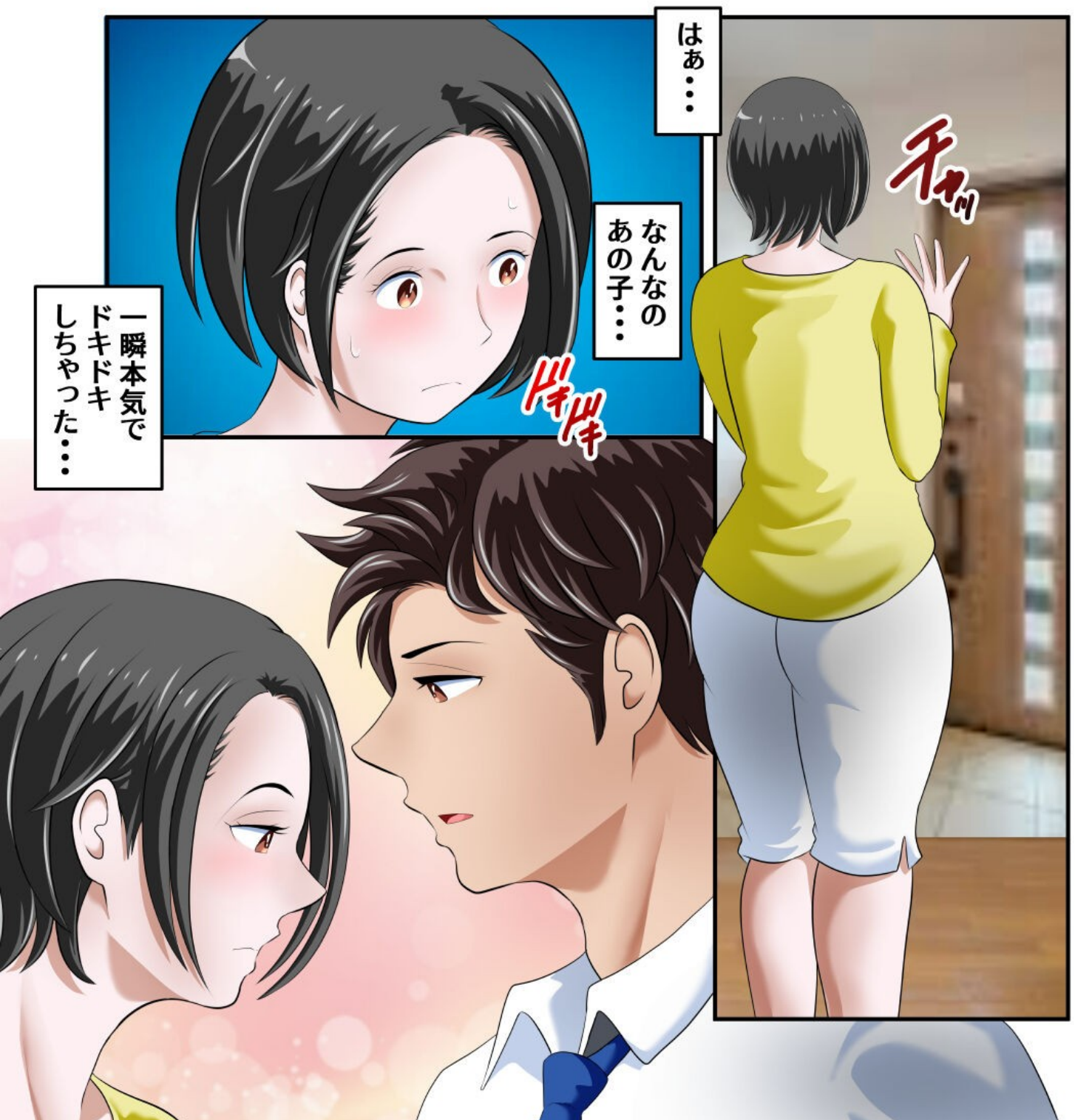
近くに來ないでよ
バカ！

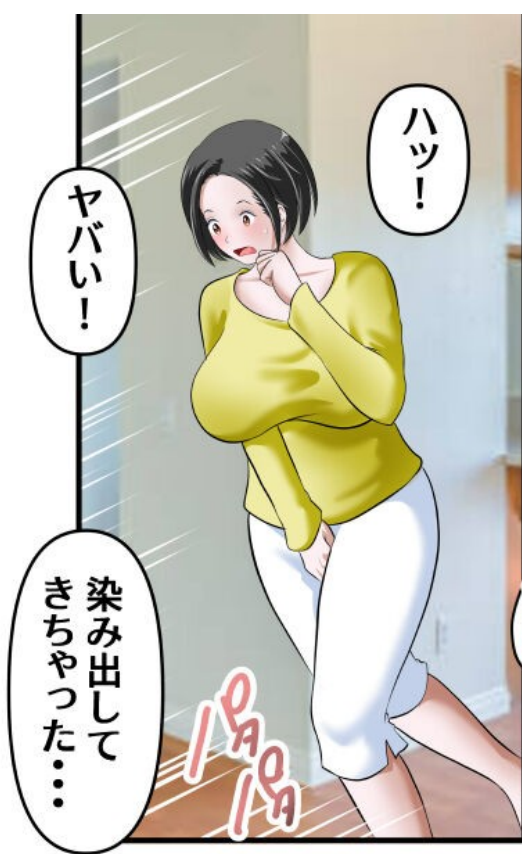
具合
悪いんじゃない？

ちゃんと
思い出したわ

ちよつと
シヨックです





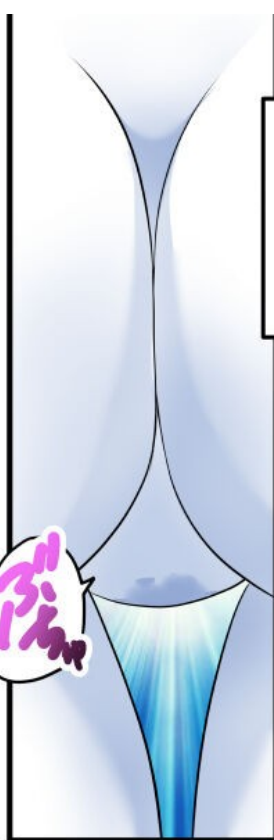


ハッ!

ヤバい!

染み出して
きちやった...

パッパッ



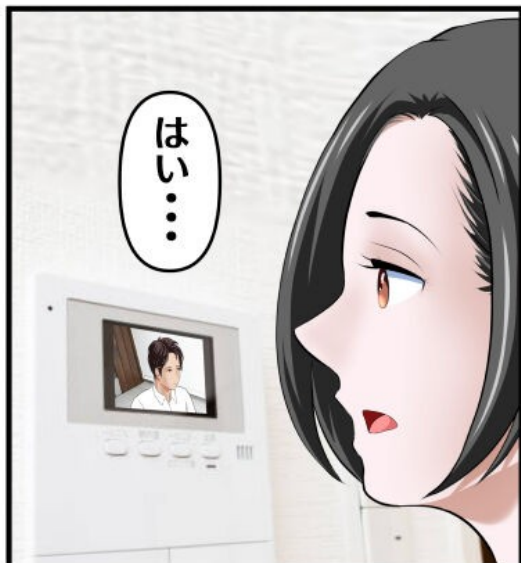
びしょ



陸人とは
大違いね...

背高いし...

モテるん
だろうな...



はい...



誰かしらこんな
大雨の日に...

もう...

ザッザッザッ



誰...

だっけ?

瑠偉...くん?

ザッザッザッ



ど…
どうしたの？

すいません
オバさん
陸人に会いに
来たんですけど

陸人？

まだ帰って
ないけど…

アッ

びしょ

そんなことより
あなたビショ濡れ
じゃない…

あ…
急に降って
きたんで…

傘持ってなくて
…

おかしいな…

もう帰るって
言ってたんだけど…

とりあえず
上がって！

タオル
持ってくるから…

広いな…

陸人
こんなところ
住んでんのか…

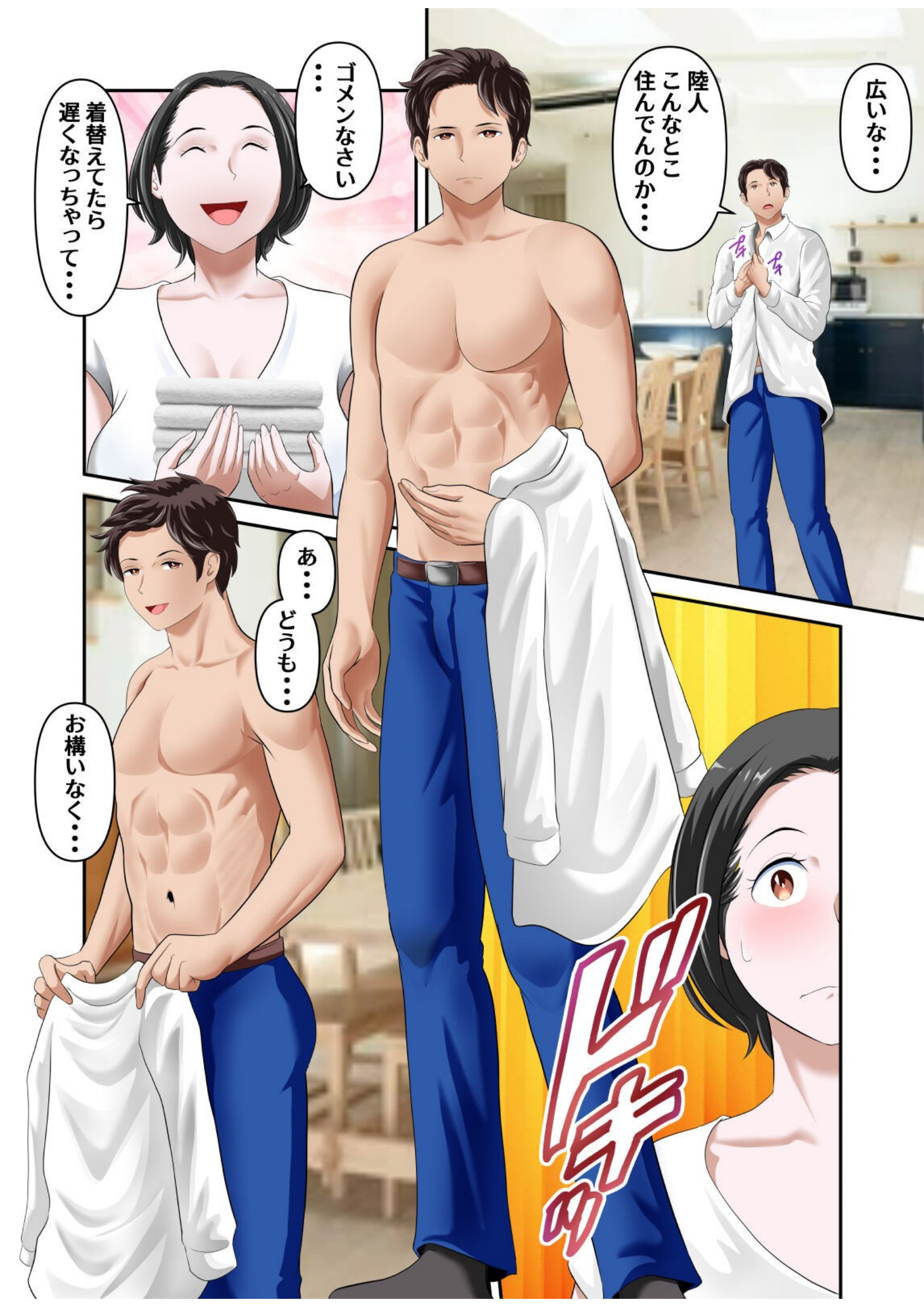
…
ゴメンなさい

着替えてたら
遅くなっちゃって…

あ…
どうも…

お構いなく…

四
十
四





えっ？

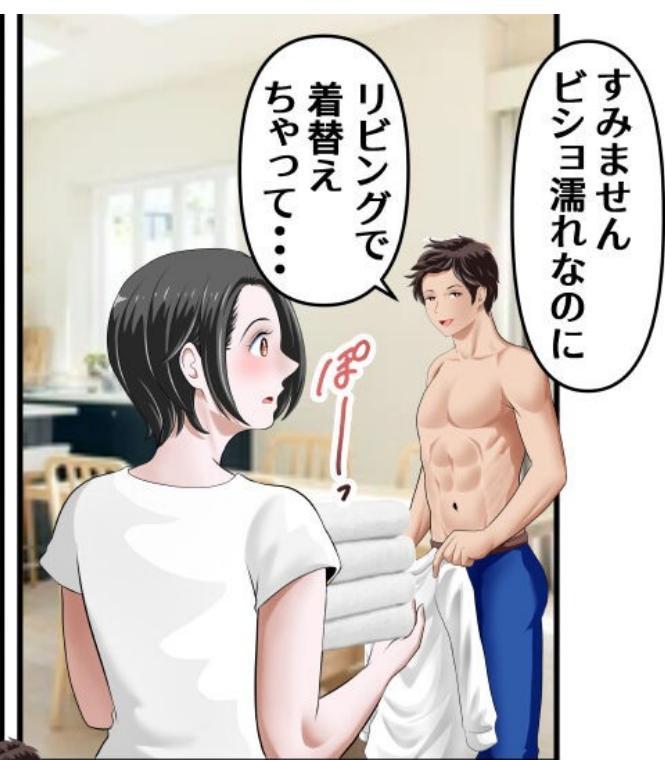
あ…

いえ…



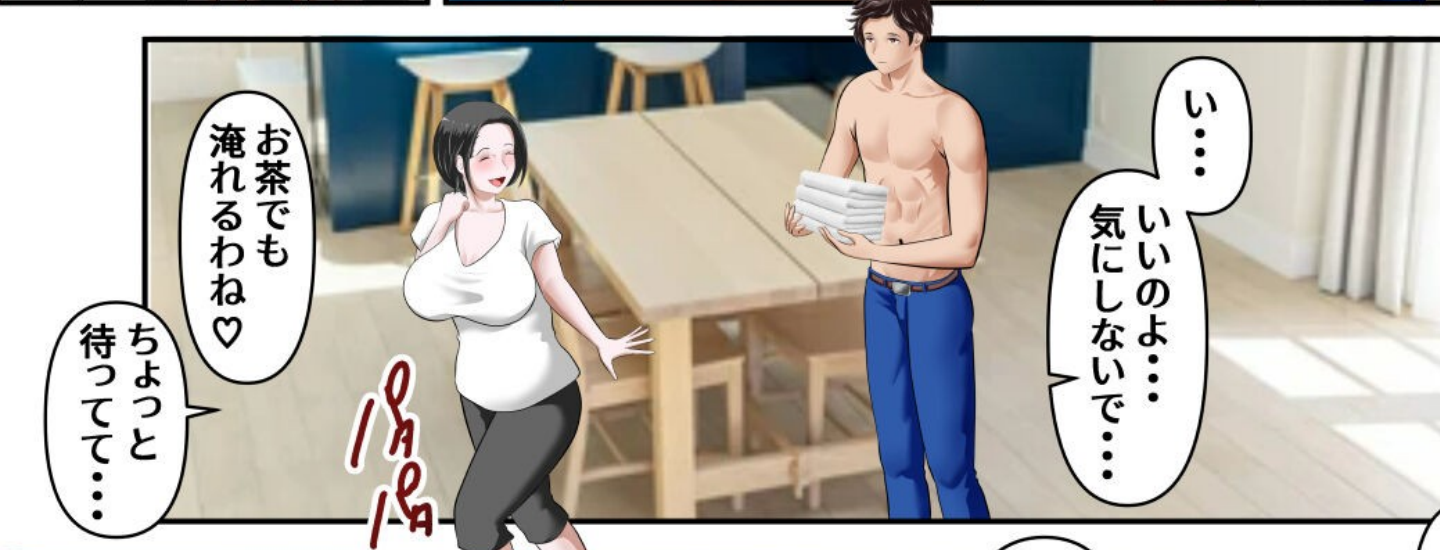
あの…

どうか
しました？



すみません
ビショ濡れなのに

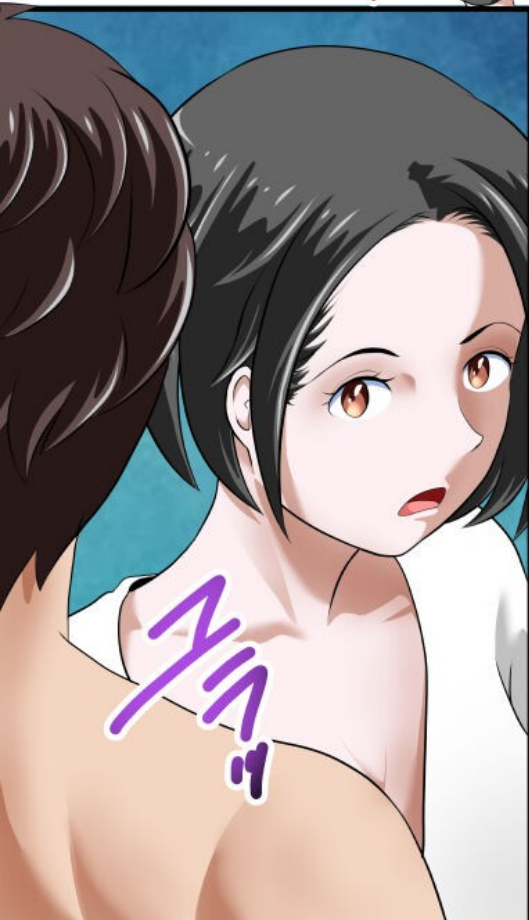
リビングで
着替え
ちやつて…



お茶でも
淹れるわね♡

ちよつと
待ってて…

いいのよ…
気にしないで…



よく
瑠偉くんの話
するんだけど…

いいわよ
座つといて…



陸人がね…

あの…
手伝いましょうか？

僕も
陸人から…

明香里さんのことは
よく聞いてます…

いや…
僕が陸人から
聞き出したんです

明香里さんを
一目見た時から…

その…

実は今日
来たのも…

明香里さんへの気持ちを
伝えたかったから
なんです！

ヤダ…

「明香里さん」
だなんて…

「好き」…に
なっちゃって

…

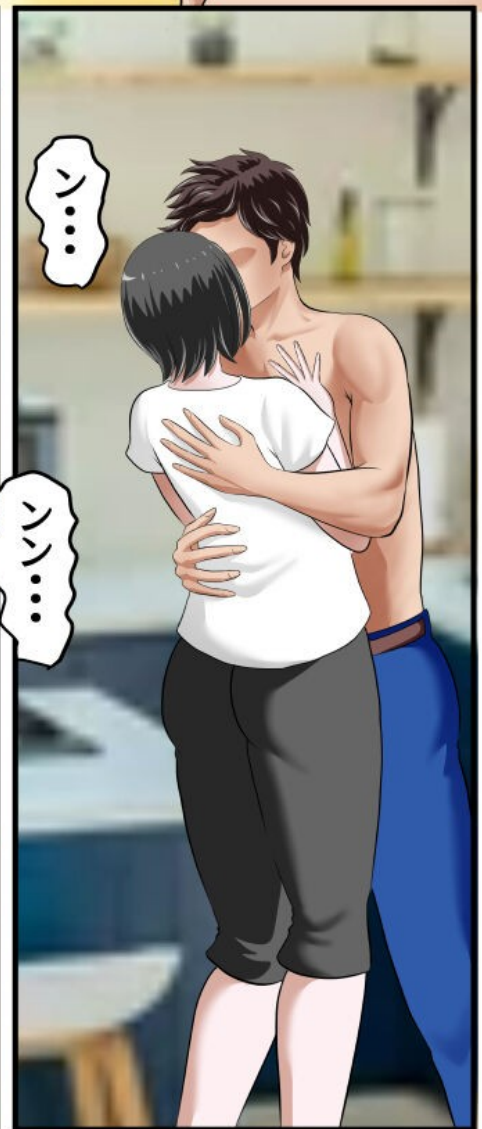
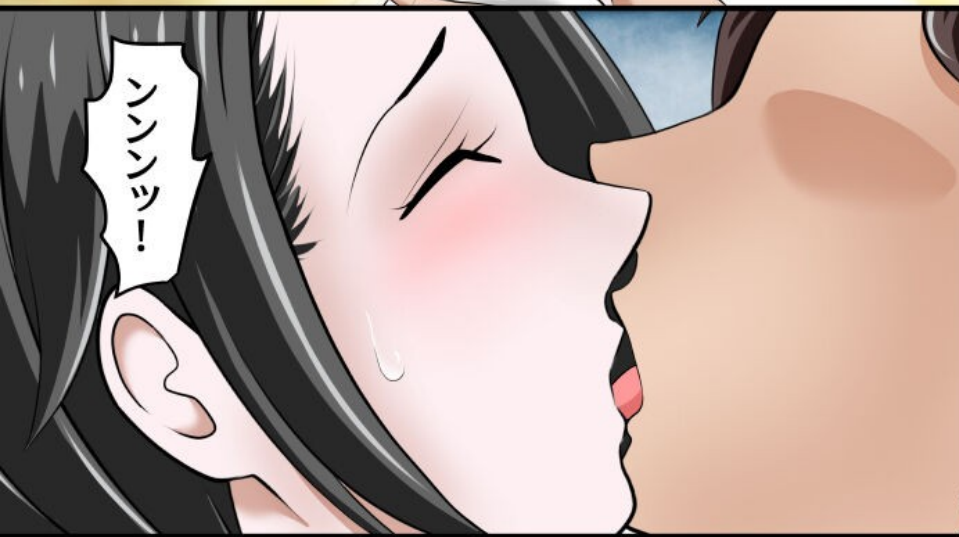
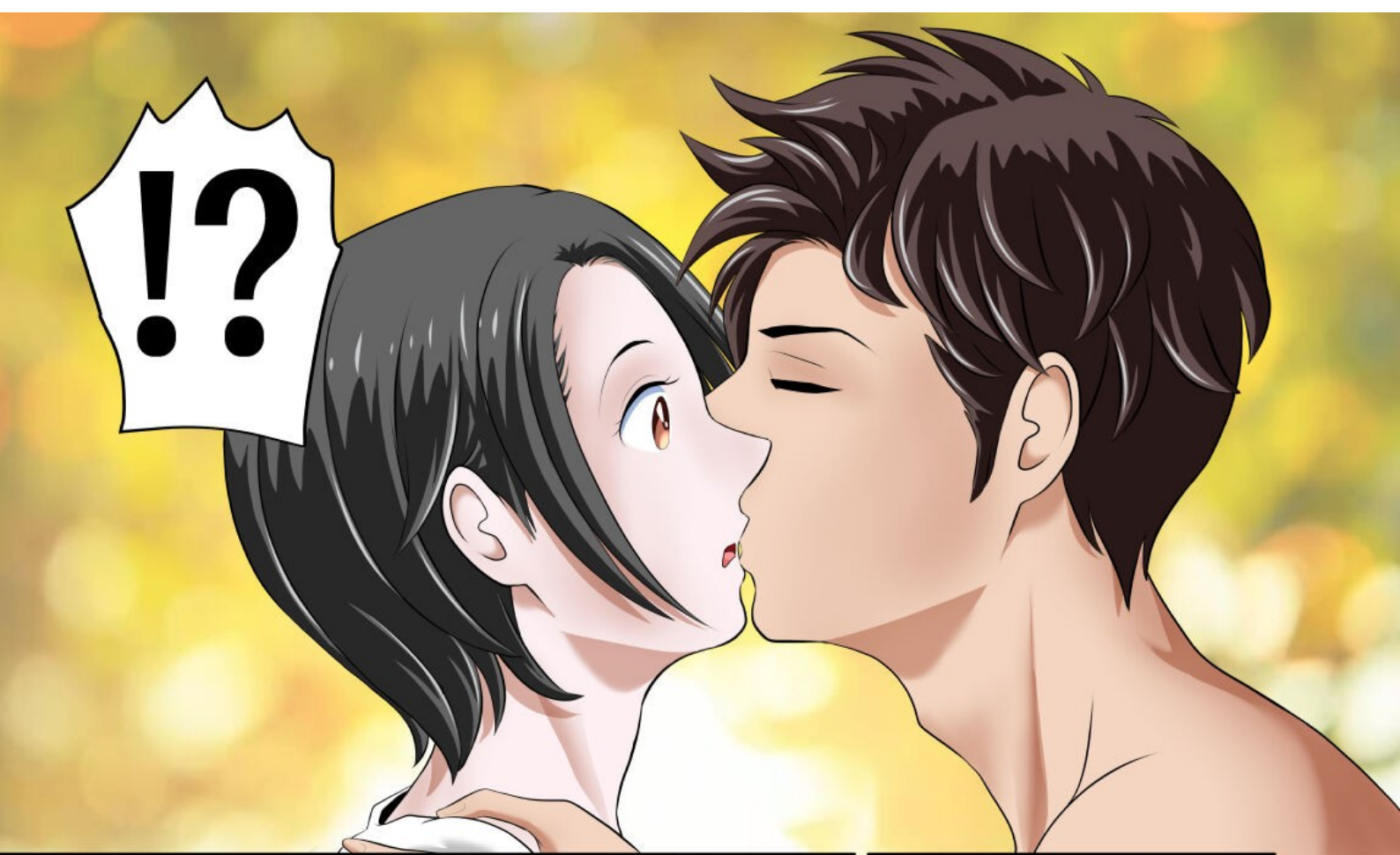
ちょ…

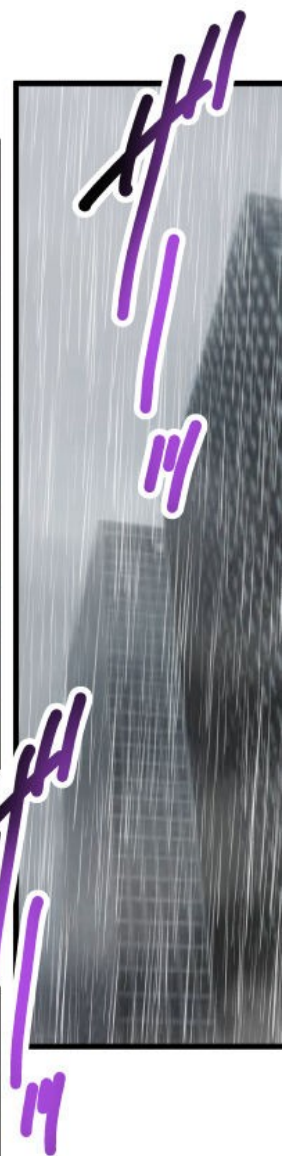
ちよつと
ゴメンなさい…

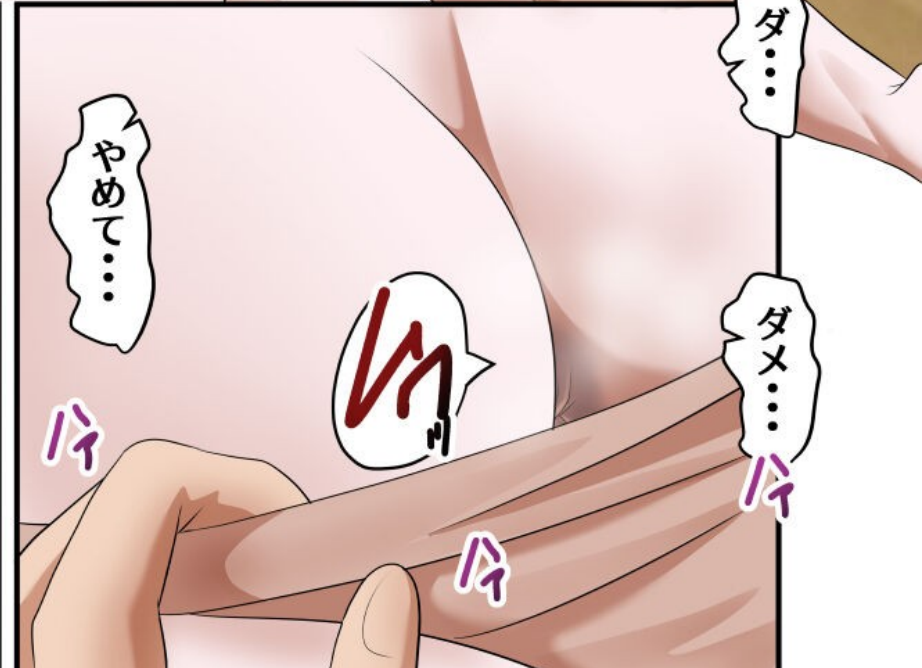
陸人ったら私のこと
何か言ってるの？

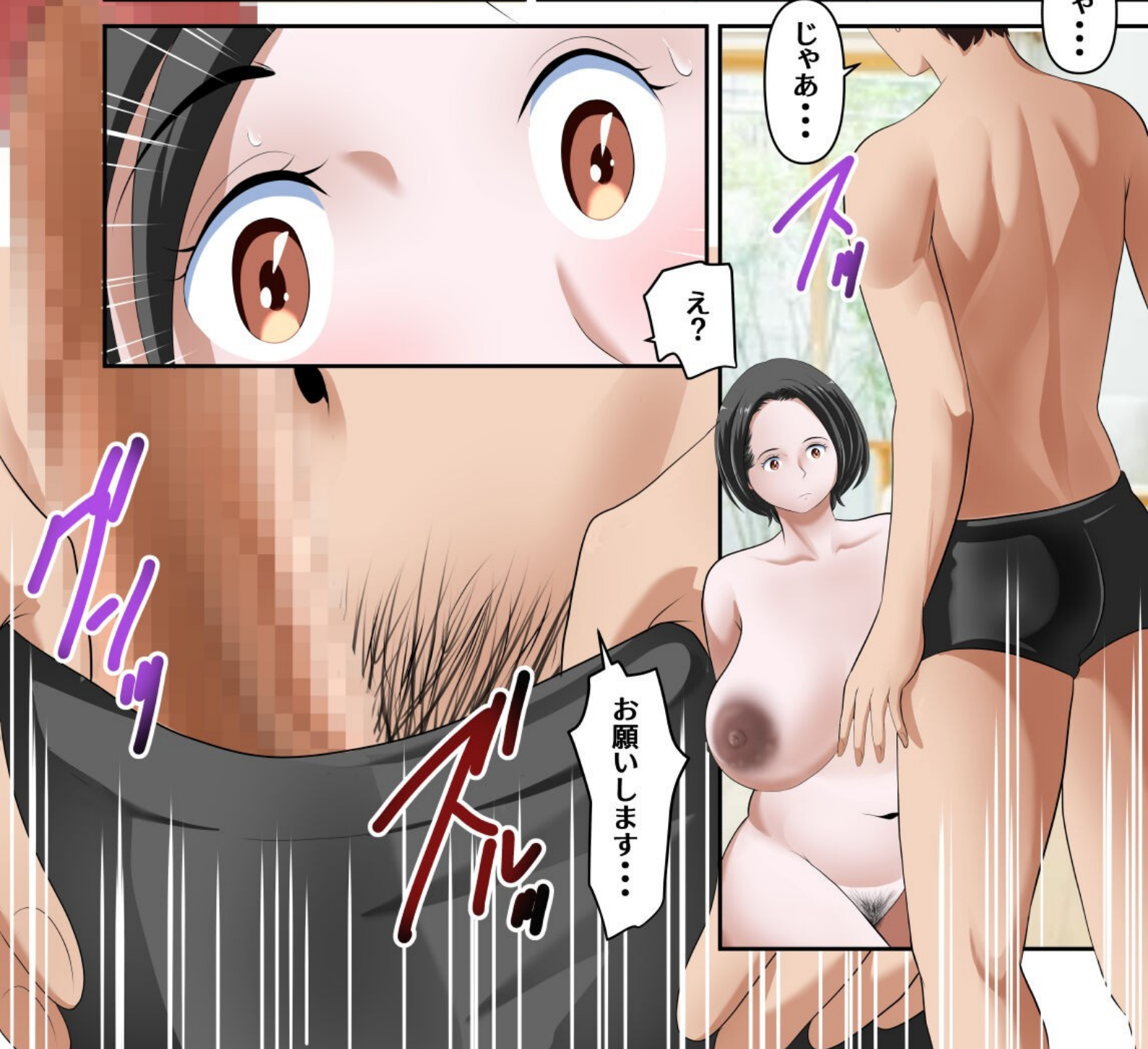
何言ってるか
よくわかんない…

どういふこと？













あ…

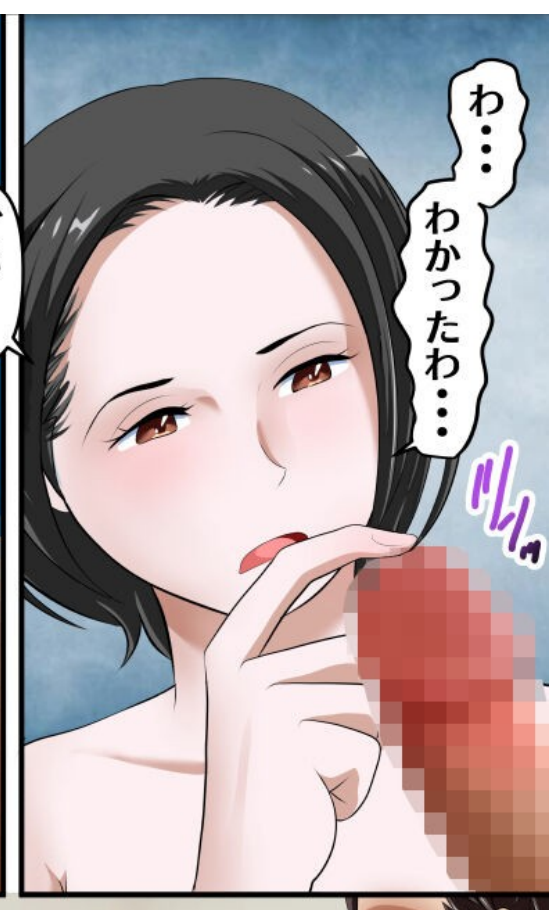
ああ…

明香里さん…



ガチガチ…

お



わ…

わかったわ…

わ



口でって…

イヤよ
そんなの…

え？

く…
口で…？



その…

口でやって
もらっても
いいですか？

あ…

明香里さん…

わ

わ

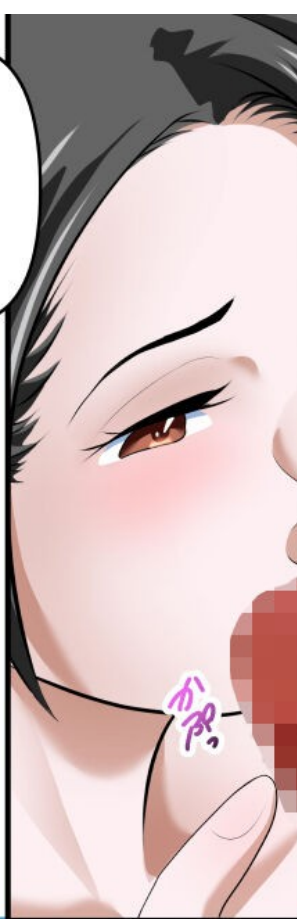
でも…強引に
やられちゃうより
ましかな…



もつと奥まで
くわえて...

ム...

ムリよこんな
おっきいの...



かっ



ゴメンね...

陸人...

ん



すぐイキ
ますから...

ちよつとだけ
ガマンして
ください...



すみません
明香里さん...

ん





それにしても...

すごい量ね...

はーっ

はーっ

はーっ

もう...
こんなに
飛ばしちゃって...

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

アッ

こんなとこまで...

掃除するの
大変...

もう...

飛ばしすぎよ
ちよつと目に
入っちゃった...

ハイ

ハイ

ハイ

ハイ

...?

!?



明香里さん！

もう…

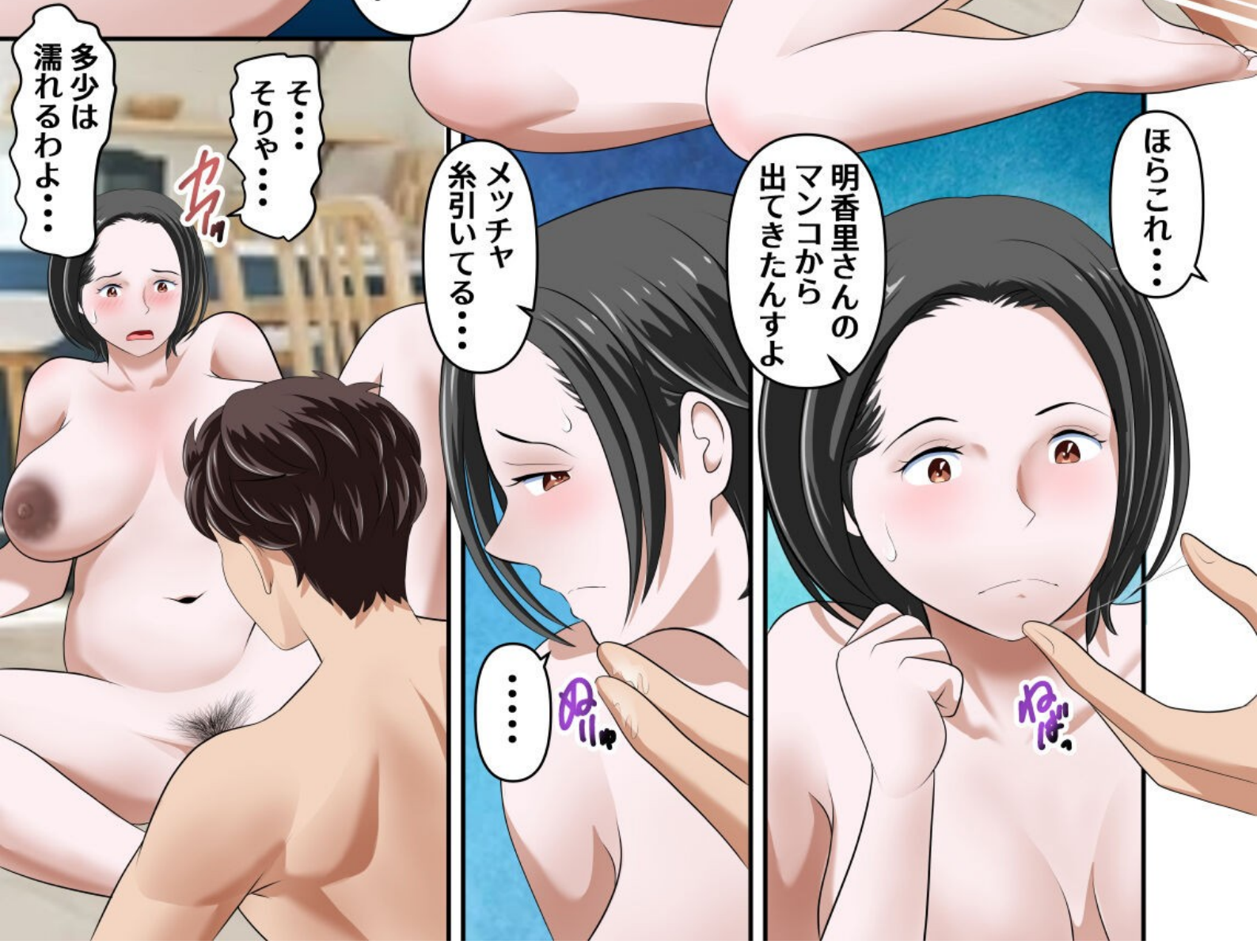
何なの？

約束通り
やってあげた
でしょ
これ以上
何を…

明香里さん…

こんなに
濡れてるじゃ
ないっすか…

アル



ほらこれ…

明香里さんの
マンコから
出てきたんすよ

メツチャ
糸引いてる…

そ…
そりや…

多少は
濡れるわよ…

カッ

ぬげ

ぬい

…



こんなにマンコ
ヒクつかせて…

あん

んっ…

明香里さんも
ちよつとは…

興奮してるん
でしょ？

キレイです…
明香里さんの
マンコ…

ダメよ…
瑠偉くん…

陸人が
帰ってきちゃう
から…

うわ…

床まで
垂れてきてる…

ビショビショじゃ
ないっすか…

指…
入れちゃい
ますよ…

明香里さんだつて
イヤって言いながら...

ホントは
興奮してるんでしょう？

ここまで来て
挿れないなんて...

ありえねーし...

いきますよ...

明香里さんの中に

入っちゃいますよ

明香里さん...

グム

ダ...

ダメだから

ホントに...

ホントに
やめて...

これだけマンコ
ビショ濡れにして

今さら
何言ってるんですか？



アッ...

ダメ...

ウソ...

あ...

奥まで
いっちゃて
いいですか?

瑠偉くんの...

入ってきちゃ...

明香里さん...

...って

ああ...

気持ち...

いい...

明香里さんの
マンコ...



あ……

ああ……

アッ……

瑠偉くんのおっきいの……

私の中に……

入ってきて……

もうムリ……

こんなおっきいの……

まだまだ
こんなんじや満足
できないっすよオレ
……

明香里さんの中に
もっと入りたい……

もっと
奥まで……



ンッ

ンッ

ドクドク

レレレレ

ダメ...

ムリよ...

明香里さん
体起こして...

トッ

トッ

瑠偉くんの...
おつきすぎるん
だもん...

この体位じゃ奥まで
入らないよ...

ドクドク

こんなおつきいのが
奥まで入っちゃったら
...

私のカラダ
壊れちゃうかも...

あ

あ





わかる？
明香里さん

子宮の入口に
チンポ
当たってるの

おなかの中まで
溜偉くんが
入ってきて...

いつて
みる！

ほらいけ！
明香里！

アッ
アッ

イッ
イッ

ズ
ズ
ズ

ハッ
ハッ
ハッ

イッ
イッ

ウ
ウ
ウ

ズ
ズ
ズ

や...
ウソ...



ちよ... ちよつと
待つて...

ホントに
...

おかしく
なっちゃう
から...

ハッハッハッ

んッ

あッ

んッ

よし...

イクよ!
明香里さん!

ハッハッハッ

ハッハッハッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

んッ









何だ先輩…



しかもあの
大雨だろ…



いろいろ
立て込んでてさ…

悪い…

